

Service とは

第 24 回源流ウェブセミナーにおいて、Service について激論が戦わされました。そこで、今回はその Service について解説してみたいと思います。

ロータリーにおいて、Service という言葉が頻出します。ロータリーでは標準的な訳語として「奉仕」という言葉を使っていますが、「奉仕」という言葉ですべてを表現できるのか大きな疑問が残ります。

まず Service という用語の意味を知らなければなりません。さらにロータリーの用語としての奉仕という訳語が、日本人に正しく伝わっているかどうか、はなはだ疑問です。

辞書を調べると

- ① 公務に対する事業、供給、用務、兵役
- ② 勤務、使用人としての務め
- ③ 修理点検
- ④ 客扱い
- ⑤ 尽力、貢献
- ⑥ 役立つこと、奉仕
- ⑦ 宗教上の儀式

などの訳がありますが、日本では商業上で一般的に使われている「値引き」とか「おまけ」といった意味は含まれていません。

ロータリーで使う場合、ロータリアンならば Service という意味はある程度理解できるのですが、それを日本語で表現する場合、果たして「奉仕」と訳して、その本質が分かるかどうか疑問が残ります。

米山梅吉も井坂孝もそのことを心配したらしく、Service を敢えて訳さずに、「サービス」とそのまま記載しています。

いろいろなロータリアンが、いろいろな立場から Service を述べています。

ある人は天職論を通じて、またある人は儒教の教えや東洋哲学を引用して Service を説きます。しかしシェルドンが述べる Ideal Service の理念は、偽りに満ちた、骨肉相食む、食うか食われるかの激烈な競争社会、20 世紀初頭の新興国家アメリカで生まれた思考であることを忘れてはなりません。

奉仕理念をロータリーに導入したのはアーサー・フレデリック・シェルドンですから、彼が述べている Service に関する記述を紹介してみます。

シェルドンはその著作「奉仕の原則と保全の法則 Service and Conservation」の冒頭で Service とは何かを定義しています。

Service とは 1. 仕事を管理する人たち（企業主）を管理すること。 2. 管理される人たち（従業員）を管理すること。 3. この両者に顧客を加えた集団を管理すること。さらに、

これに時間やエネルギーやお金や材料を無駄遣いせず有効 に活用して保全することを付け加えることであると記載しています。

これはすべて安心と豊かな実りを獲得するための道です。

世に有用な職業に従事している人は全員、奉仕によって品物を作ったり、売ったりしているのです。すべての従業員は、人に役立つものを作り、雇用主はそれを売っているのです。

役に立つこととは Service の別名なのです。

私たちが今まで使ってきた奉仕とはかなり異なった定義であり、世に有用な職業に従事して働く行動は、全て Service だとも考えても良いように思われます。

この定義から Service をロータリー的な日本語に翻訳するとどうなるでしょう。

「人の役に立つこと」

さらに 1904 年に発行された「経営学 Science of Business」の中で シェルドンは、「Service という単語そのものについて、あまりにも多くの意味を持った単語なので、一言で言い表すことは不可能であると前置きして、Service を受けた立場から得られるのは「満足感」であると述べています。」

Service を行う立場からはどのように表現したら良いのでしょうか。

一般社会の中で、Service という言葉が、パチンコ屋の出血サービスや百貨店のバーゲン・セールを連想させないように、さらにロータリーと関連付けるためには、どのような日本語が適切でしょうか。「貢献」という言葉を使うのも一つの方法かもしれません。

ロータリーが他の奉仕団体と異なる唯一の活動は職業奉仕にあります。従って、ロータリアンとして最も重要な使命は、職業を通じて社会に奉仕(貢献)することです。今は現役を退いている人として、その重要な経験を若い人に知らしめるための活動が求められます。

奉仕を実践すれば後から必ず利益がもたらせられます。先に利益を求める人の事業は衰退します。小さな奉仕には小さな利益が、大きな奉仕には大きな利益がもたらせられるのです。

Ideal of Service という言葉もロータリーではよく使われます。

この言葉の意味については、「Official Directory 会員名簿」の最後のページに Chesley Perry が書いた「a Brief History of Rotary」を参考にして Service の真意をご理解ください。

Rotary clubs everywhere have one basic ideal -the "Ideal of Service", which is thoughtfulness of and helpfulness to others

ロータリークラブはいかなる場所においても、一つの基本的理念をもっている。それは人に対する思いやり thoughtfulness と人に対して役に立つ helpfulness ことである。

なお、全世界のクラブの詳細が収録されているこの本 Official Directory は、2008 年をもって定期発行が中止になり、その後 CD と Web に収録されましたが、現在は RI のサイトのみ収録されています。